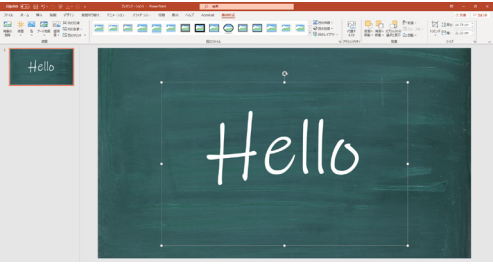
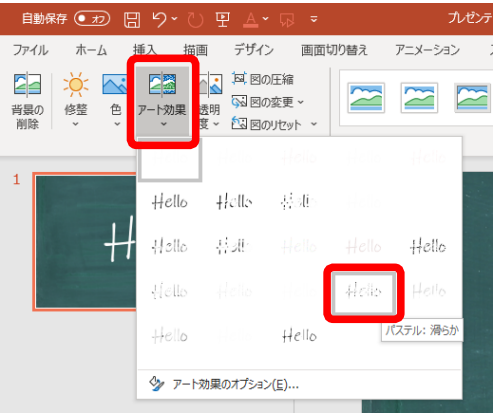
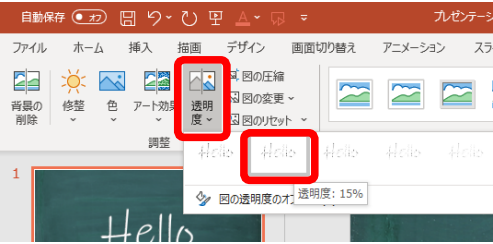
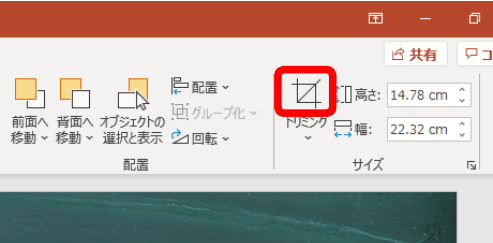

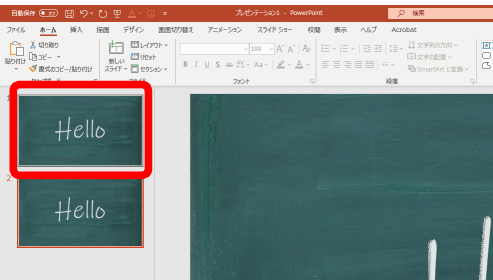


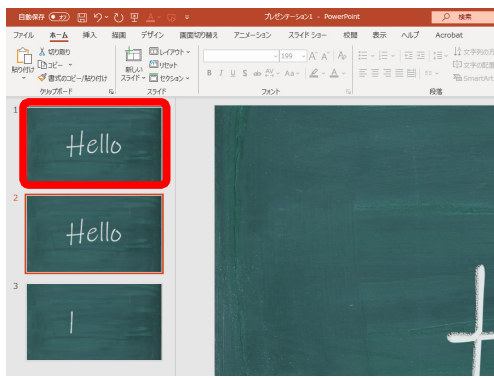
このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1910 で書かれています

<p>1</p>		<p>「レイアウト」→「白紙」を選択。</p>
<p>2</p>		<p>インターネットで「黒板」「blackboard」など検索し、黒板の画像を貼り付け。</p>
<p>3</p>		<p>「挿入」→「テキストボックス」でテキストボックスを作り、「Hello」と入力。 お好みのフォントにし、フォントの色を白。 A A でフォントのサイズを調整。 ≡ 中央揃えに。</p>
<p>4</p>		<p>テキストボックスの枠線の上で、右クリック。 「図として保存」。</p>
<p>5</p>		<p>「Delete」キーでテキストボックスを削除。</p>

6		<p>「挿入」→「画像」で、先ほど図として保存した「Hello」の画像を挿入し、適当な位置に調整します。</p> <p>※ ここで決めた位置が今後の作業の基準になるので、しっかり位置を決めましょう。また、作業中にズレないように気をつけましょう。</p>
7		<p>チョークで書いたような効果を付けます。 「アート効果」→「パステル：滑らか」。</p>
8		<p>「透明度」→「透明度：15%」。</p>
9		<p>「トリミング」をクリック。</p>
10		<p>「Hello」の文字がきっかり入る大きさにトリミングします。</p>
11		<p>画面左にあるスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」＋「D」キーで複製します。</p>

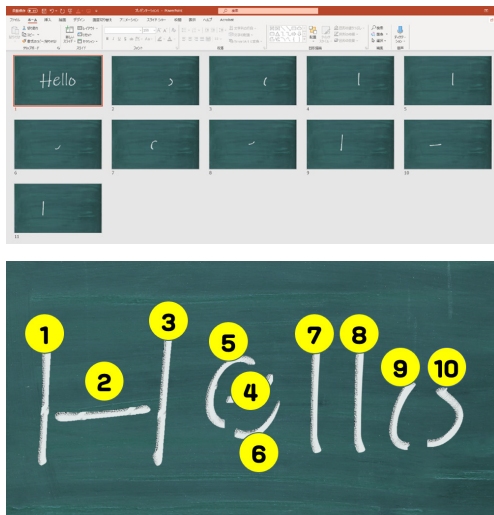
12		<p>複製したスライドの「Hello」をダブルクリックし、「トリミング」をクリック。 「H」の1画目だけ残るようにトリミング。</p>
13		<p>きれいに1画目だけが残るように余分な部分を削除します。 「背景の削除」をクリック。</p>
14		<p>紫色の部分が削除される部分になります。</p>
15		<p>「保持する領域としてマーク」をクリック。</p>
16		<p>残したい部分をなぞります。</p>
17		<p>反対に消したい部分は、「削除する領域としてマーク」をクリックして、なぞります。 これを繰り返して、「H」の1画目だけ残るようにします。</p>

18



1枚目のスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」+「D」キーで複製。

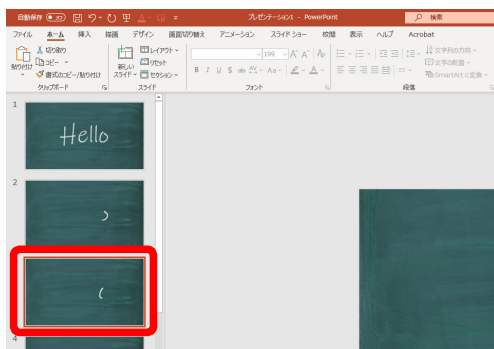
19



「Hello」のスライドと「H」の一画目のスライドとの間に新しいスライドができました。今度は、このスライドの「Hello」画像から「H」の2画目だけのスライドを12～17の手順と同じように作っていきます。

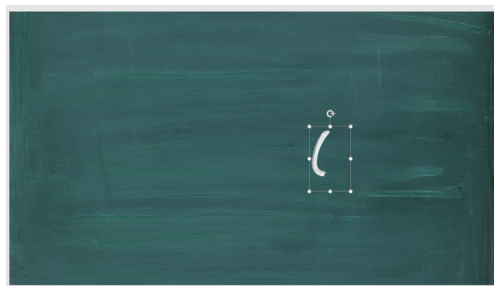
「Hello」という文字を10個のパーツにするわけです。後からワイプのアニメーションで表示させてくことを考えて作ります。「e」や「o」のように曲線を含む文字はパーツの分け方をよく考えながら作りましょう。

20



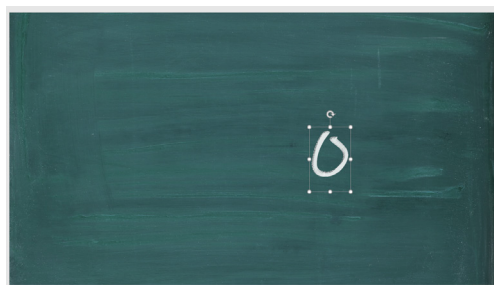
「o」の最初のパーツがある3枚目のスライドのサムネイルをクリック。

21

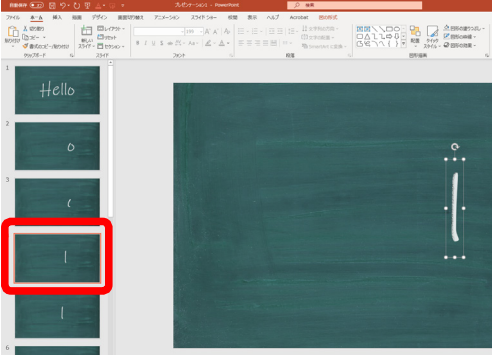
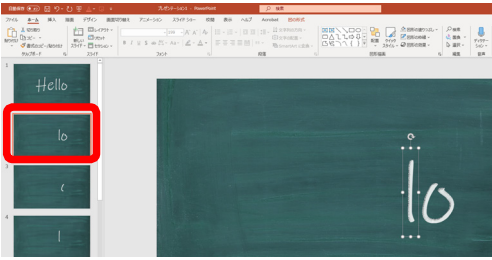
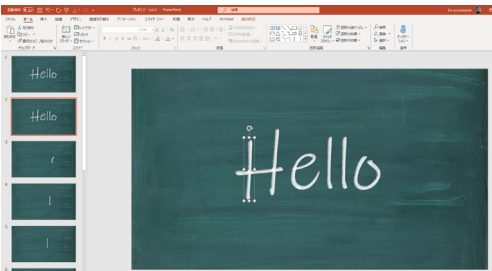
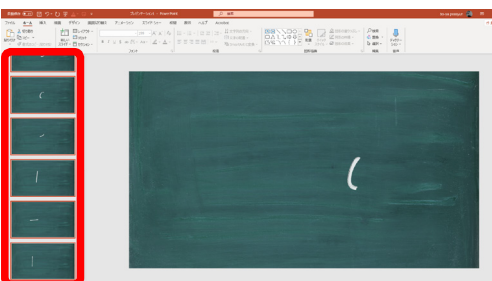
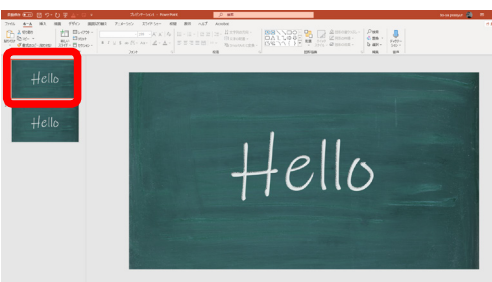
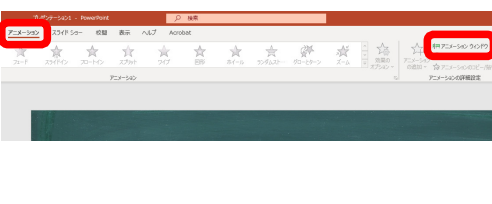




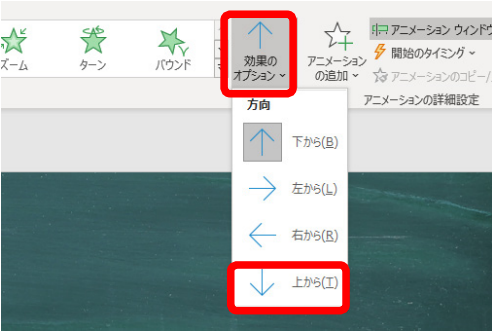
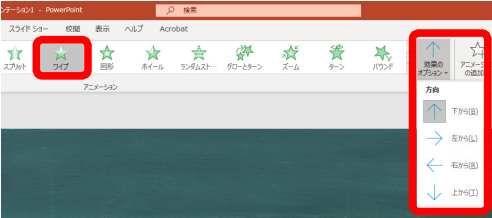

パーツをクリックし、コピー。

22



「o」の最後のパーツがある2枚目のスライドのサムネイルをクリックし、貼りつけ。「o」の最初と最後のパーツが重なります。

23		<p>同じように今度は4枚目の「l」のスライドのサムネイルをクリックし、「l」をコピー。</p>
24		<p>2枚目のスライドのサムネイルをクリックし、貼りつけ。 「o」の横に「l」が来ました。</p>
25		<p>このようにして全てのパーツを2枚目のスライドに集めていきます。</p>
26		<p>それぞれのパーツのスライドは、もういらないので、3枚目のスライドをクリックし、「Shift」キーを押しながら最後のスライドをクリックし、「Delete」キーで削除。</p>
27		<p>1枚目のスライドもいらないので削除。</p>
28		<p>「アニメーション」→「アニメーションウィンドウ」をクリック。 ※ すでに「アニメーションウィンドウ」が開いている場合は必要ありません。</p>

29		「H」の1画目をクリック。
30		「ワイプ」をクリック。
31		「効果のオプション」→「上から」。
32		<p>「H」の2画目をクリックし、「ワイプ」をクリック。 「効果のオプション」→「左から」をクリック。 このようにして、全てのパーツにワイプのアニメーションをかけていきます。 ワイプの方向を考えながら設定していきましょう。 例えば「e」の場合、フォントのデザインにもよりますが順に「左から」「上から」「左から」になります。</p>
33		アニメーションウィンドウの上から2番目の項目をクリックし、「Shift」キーを押しながら一番下の項目をクリック。

34		<p>「開始」の「クリック時」を「直前の動作の後」に。</p>
35		<p>「F5」キーを押して、スライドショーを観てみましょう。 クリックすると、「Hello」の文字が書かれて行けば OK です。</p>
補 足		<p>実際は、「e」や「o」など一筆がパーツに分かれている文字はカクカクするように見える場合があります。 そんなときは、該当のパーツをクリックし、「開始」を「直前の動作と同時」、「遅延」を「0.3」秒など設定して微調整をします。</p>